

1890年代におけるオーストラリアの貿易

本間 直行

【要旨】

1890年のベアリング恐慌をうけた19世紀末「大不況」の最終局面においては、周辺地域の経済動向がイギリスに対して重要な影響を及ぼした。この中で、オーストラリア経済もベアリング恐慌の前からすでに停滞気味であったが、93年にはさらに恐慌の勃発をみることにより、90年代を通して経済は低迷し、イギリス経済に大きな影響を与えることになった。本稿は、まずこの時期のオーストラリア経済の貿易動向を簡単に検討してみようとするものである。1890年代におけるオーストラリア各植民地の貿易動向、貿易相手地域の分布、貿易品目の内容、貿易収支の動向について具体的な検討を加えた。「大不況」末期の世界経済の構造変化や、運輸通信革命の影響を受けて、オーストラリア貿易には新たな方向性を示す動向もみられた一方、全体的にみて貿易は基本的に停滞傾向を余儀なくされていた。それがまたイギリス経済の停滞を、そして両者の新たな対応を導く要因となっていったのである。

【キーワード】

19世紀末「大不況」 オーストラリア恐慌 オーストラリアの貿易
イギリス帝国圏

1890年代におけるオーストラリアの貿易

本間 直行

目 次

はじめに

I 貿易額

II 輸出

III 輸入

IV 収支

むすび

はじめに

1890年のペアリング恐慌に伴い国際金融における混乱が生じ、世界経済も停滞化し、90年代は19世紀末「大不況」の最終局面を迎えることになった¹。イギリスの資本輸出は急速に減少するとともに、従来高い信用をえていた海外、外国証券に対する信頼感が揺らぐことになった。たとえば、アメリカでは本位論争が激化し、93年恐慌後経済は長期にわたり沈滞した。インド幣制についてもイギリス国内で激しく論争が展開した。さらに、80年代末からすでに停滞傾向を呈していたオーストラリアでは、93年に恐慌が生じ、以降景気はさらに低迷を余儀なくされた。イギリスの対外資本移動は一層収縮することになり、これがさらにイギリス国内景気へも打撃を与えることになったのである。

このうち、オーストラリアでは80年代末の不動産投機が崩壊し、経済が停滞

¹ 拙稿「1890年代前半におけるイギリスの不況」、『経済学季報』第58巻第2号、2008年12月、参照。

気味であったが、93年のメルボルンを中心として発生した恐慌によりさらに経済状況は低下していった。一方で90年代半ば以降ゴールドラッシュに沸くものの、ビクトリアを中心にしてオーストラリアにとって90年代は一般に経済的停滞によって特徴づけられることになる。

本稿ではこうした90年代のオーストラリア経済の具体的動向に立ち入る前に、この時期のオーストラリアの貿易動向を検討することにしたい。以下、Iで全体の概観をし、IIで輸出を、IIIで輸入を、IVで収支の動向を分析する²。

I 貿易額

まず、貿易総額の動向をオーストラリア全体についてみておこう(表1)。輸出からみてみよう。

地金銀を含めた輸出総額は、91年に22.9%と大きく増加した後、94年まで減少して91年の89.3%の底になり、96年まで停滞した後、97年には91年を上回るほどの増加に転じ、98年以降は一層高水準となっており、91年より34.8%も高くなっている。他方で、地金銀は、90年には各地域の輸出の単純合計額の15.3%から94年には20%に、98年には31.7%と90年代のピークとなり、99年にも24.1%を占めている。90年代後半の新たなゴールドラッシュを反映しているのである。すなわち、90年代後半にオーストラリアの輸出は大幅に増加するとはいえ、そのかなりの部分が地金銀によっていたと考えられる。したがって、これを除いた一般商品の輸出についてはそれほど大きく増加はしていないと考える方が妥当であろう。オーストラリア全体で90年代後半に景気回復を導くほどに輸出が大幅に増加したわけではないであろう。

各地域別にみると、地金銀を含む含まないにかかわらず、ニューサウスウェールズ(NSW)がこの間各地域輸出合計額の4割前後、ビクトリアが4分の

² なお、本稿では、特に断らない限り、オーストラリア全体の貿易額はニューサウスウェールズ(NSW)、ビクトリア、南オーストラリア、西オーストラリア、タスマニア、クイーンズランドの貿易額の単純な合計額を指す。南オーストラリアの貿易額は特に断らない限り北部地域を除いたものである。また、中継貿易ないし再輸出については基本的には考慮していない。

表1 輸出入額と貿易収支

地合銀含む															(千ポンド)														
NSW			ビクトリア			南オーストラリア			北部地域			西オーストラリア			タスマニア			クイーンズランド			オーストラリア (各植民地の合計)			オーストラリア (植民地を除く)					
輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支			
1889	23,295	22,863	432	12,735	24,403	-11,668	7,259	6,804	455	120	194	-74	761	818	-57	1,460	1,611	-151	7,736	6,053	1,684	53,367	62,746	-9,379	29,558	37,517	-7,960		
1890	22,046	22,615	-569	13,266	22,954	-9,688	8,827	8,263	565	155	114	41	672	874	-203	1,487	1,898	-411	8,555	5,067	3,488	55,008	61,784	-6,777	29,296	35,143	-5,847		
1891	25,944	25,383	561	16,007	21,712	-5,705	10,512	9,957	556	144	119	25	799	1,280	-481	1,441	2,052	-611	8,305	5,079	3,226	63,153	65,582	-2,429	36,015	37,758	-1,743		
1892	21,923	20,777	1,146	14,215	17,175	-2,960	7,820	7,395	424	179	122	57	882	1,391	-509	1,347	1,497	-150	9,170	4,383	4,788	55,585	57,239	-2,846	33,356	30,066	3,290		
1893	22,921	18,107	4,814	13,309	13,284	25	8,464	7,934	530	172	117	56	918	1,494	-576	1,352	1,057	295	9,633	4,353	5,280	56,769	46,346	10,423	33,196	23,722	9,474		
1894	20,578	15,802	4,776	14,027	12,471	1,556	7,302	6,227	1,075	227	99	128	1,251	2,114	-863	1,489	980	509	8,796	4,337	4,458	53,669	42,300	11,639	32,167	21,869	10,297		
1895	21,935	15,922	5,942	14,548	12,472	2,075	7,177	5,586	1,591	176	95	80	1,333	3,775	-2,442	1,373	1,094	279	8,983	5,349	3,634	55,523	44,364	11,159	33,619	23,172	10,447		
1896	23,010	20,562	2,449	14,199	14,555	-356	7,594	7,161	433	149	103	46	1,650	6,581	-4,931	1,377	1,192	304	9,164	5,433	3,730	57,282	55,566	1,676	32,888	29,675	3,214		
1897	23,751	21,724	2,007	16,740	15,454	1,285	6,928	7,126	-198	142	151	-8	3,940	6,321	-2,391	1,744	1,368	377	9,092	5,429	3,662	62,338	57,604	4,734	37,763	31,859	5,904		
1898	27,648	24,454	3,195	15,872	16,769	-897	6,796	6,185	611	183	114	69	4,960	5,242	-282	1,803	1,650	153	10,856	6,007	4,849	68,118	60,420	7,698	40,836	31,447	9,388		
1899	28,445	25,594	2,851	18,568	17,953	615	8,388	6,884	1,504	159	132	27	6,986	4,242	2,512	2,577	1,769	808	11,943	6,764	5,179	77,066	63,570	13,496	48,540	34,259	14,281		
1900	28,165	27,561	603	17,423	18,302	-879	8,029	8,035	-5	162	140	23	6,852	5,962	890	2,611	2,074	537	9,582	7,184	2,397	72,823	69,257	3,566	45,958	41,329	4,629		
1901	27,351	26,928	423	18,646	18,927	-281	8,016	7,372	644	303	107	196	8,516	6,454	2,061	2,946	1,965	981	9,249	6,376	2,873	75,027	68,129	6,897	47,692	42,424	5,268		

地合銀															(千ポンド)														
NSW			ビクトリア			南オーストラリア			北部地域			西オーストラリア			タスマニア			クイーンズランド			オーストラリア (各植民地の合計)								
輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支			
1889	3,283	2,898	385	2,304	725	1,579	169	125	44	53	25	29	59	3	56	123	2	122	2,858	319	2,539	8,849	4,097	4,752					
1890	2,403	2,623	-260	2,762	669	2,093	688	222	466	86	14	72	87	54	33	128	116	12	2,284	325	1,959	8,436	4,622	4,375					
1891	3,878	2,468	1,410	2,663	1,081	1,582	561	382	179	99	19	80	115	112	4	183	167	16	2,117	36	2,081	9,616	4,265	5,351					
1892	2,335	2,623	-288	1,865	2,899	1,035	633	54	580	109	14	95	226	11	215	146	3	142	2,089	208	1,881	7,403	3,744	3,660					
1893	3,100	4,044	-944	2,866	2,050	815	1,326	761	565	115	19	96	441	139	302	128	19	110	2,603	872	1,730	10,579	7,905	2,674					
1894	2,424	2,937	-513	3,735	1,293	2,442	996	62	934	110	15	95	787	240	547	213	39	174	2,487	294	2,193	10,752	4,879	5,872					
1895	3,245	2,090	1,154	3,764	1,426	2,338	1,148	195	952	103	14	89	884	926	-42	224	100	124	2,290	607	1,683	11,658	5,359	6,299					
1896	3,943	2,496	1,446	3,310	1,497	1,813	1,193	354	838	82	14	68	1,069	980	89	224	2	221	2,236	104	2,131	12,056	5,449	6,607					
1897	4,799	3,226	1,573	6,425	2,107	4,368	1,137	16	1,231	71	21	51	1,391	68	3,123	229	51	178	2,677	53	2,624	18,579	5,540	13,038					
1898	7,025	5,636	1,388	5,946	2,695	3,251	1,177	10	1,168	84	10	74	4,006	136	3,870	250	14	236	3,116	294	2,822	21,605	8,795	12,810					
1899	4,552	3,231	1,321	4,391	2,869	1,522	816	193	623	63	10	53	5,547	6	5,541	201	29	172	3,022	229	2,793	18,592	6,566	12,026					
1900	6,015	4,552	1,463	4,155	1,534	2,621	796	101	695	68	15	53	5,578	3	5,575	205	42	163	2,869	370	2,499	19,686	6,618	13,068					
1901	4,418	3,857	560	4,305	1,244	3,061	742	119	623	77	8	69	6,794	25	6,770	204	18	186	2,627	237	2,390	19,168	5,508	13,660					

地合銀以外															(千ポンド)														
NSW			ビクトリア			南オーストラリア			北部地域			西オーストラリア			タスマニア			クイーンズランド			オーストラリア (各植民地の合計)								
輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支	輸出	輸入	収支			
1889	20,012	19,965	47	10,431	23,678	-13,247	7,091	6,679	411	67	170	-103	703	815	-113	1,336	1,609	-273	4,878	5,733	-855	44,518	58,649	-14,131					
1890	19,643	19,952	-309	10,504	22,285	-11,781	8,140	8,041	99	69	101	-31	585	821	-236	1,359	1,781	-422	6,271	4,742	1,529	46,572	57,723	-11,151					
1891	22,066	22,915	-850	13,344	20,631	-7,286	9,951	9,575	377	45	101	-55	684	1,168	-484	1,258	1,885	-627	6,189	5,043	1,146	53,537	61,317	-7,780					
1892	19,637	18,153	1,484	12,350	16,345	-3,995	7,986	7,341	-155	70	108	-38	656	1,380	-724	2,011	1,494	-293	7,081	4,174	2,907	48,182	48,936	-814					
1893	19,821	14,063	5,758	10,443	11,234	-791	7,138	7,173	-35	57	98	-40	477	1,355	-878	1,224	1,039	185	7,030	3,480	3,550	46,190	38,441	7,748					
1894	18,154	12,865	5,289	10,291	11,177	-886	6,306	6,165	141	117	84	33	644	1,875	-1,411	1,276	941	336	6,308	4,044	2,265	42,917	37,150	5,767					
1895	18,690	13,902	4,788	10,784	11,046	-263	6,029	5,390	639	73	81	-9	448	2,849	-2,400	1,149	994	154	6,692	4,742	1,951	43,865	39,005	4,860					
1896	19,068	18,065	1,003	10,889	13,058	-2,169	6,401	6,806	-405	67	89	-22	581	5,601	-5,019	1,273	1,190	83	6,928	5,329	1,599	45,207	50,138	-4,931					
1897	18,952	18,518	434	10,265	13,347	-3,082	5,791	7,111	-1,319	71	130	-59	749	6,263	-5,514	1,516	1,317	199	6,414	5,376	1,038	43,759	52,064	-8,305					
1898	20,623	18,817	1,806	9,926	14,074	-4,148	5,618	6,175	-557	98	102	-6	954	5,106	-4,152	1,554	1,636	-83	7,740	5,713	2,027	46,514	51,626	-5,112					
1899	23,894	22,363	1,530	14,177	15,084	-907	7,572	6,692	881	95	124	-27	1,434	4,468	-3,029	2,376	1,741	636	8,921	6,535	2,385	58,474	57,005	1,470					
1900	22,150	23,009	-859	13,267	16,768	-3,500	7,233	7,934	-701	95	125	-30	1,274	9,599	-4,685	2,406	2,032	374	6,713	6,814	-101	53,137	62,639	-9,502					
1901	22,321	23,071	-750	14,341	17,683	-3,342	7,243	7,253	21	226	99	128	1,271	6,430	-4,708	2,742	1,947	794	6,622	6,139	483	55,859	62,621	-6,762					

出所) Statistical Abstract for the Several Colonial And Other Possessions of the United Kingdom in Each Year from 1887 to 1901, 1902, pp.34-37, 40-43, より作成.

1前後を占め、この両者で単純合計全体のほぼ3分の2程度となっている。ほかにクイーンズランドが十数パーセント、南オーストラリアが地金銀を含めれば10パーセント台前半、含まなければ15パーセント前後となっている。西オーストラリアは、上述の90年代後半における地金輸出急増を導いた主要地域であるが、全体の輸出総額に占める地位は低い。全体的にみてNSWとビクトリアが輸出の大きな部分を占めている。

次に輸入である。

各地域の輸入総額の単純合計でみると、地金銀の比重は、恐慌のあった93年に17.1%に達しているのを除いては、10%前後となっており、産金国として当然のことながら、輸出におけるより低い水準になっている。その意味では逆に93年の経済状況の厳しさを、特定地域に限定せず全域にわたる厳しさを推測することができよう。地金銀を含む輸入合計額は91年に6.1%増加によりピークに達した後、92年に19.6%、93年に12.1%の低下を示し、94年を底に95年まで低迷している。その後96年に25.3%増加してから増加を続けるが、91年の水準を上回るのはようやく00年になってからのことである。すなわち、90年代半ばの輸入低迷は輸出以上に厳しく、地金輸入拡大もみられるなどこの時期のオーストラリア経済の全域にわたる停滞状況をはっきりと示しているといつてよいであろう。

各地域別にみると、ここでもNSWとビクトリアの比重が高い。各地域の輸出の単純合計に対して、前者は地金銀を含めれば30%台後半、除くとそれより若干低めの水準となっているが、90年代末には初めよりも高い比重を確保している。後者は地金銀を含めれば30%前後、除くとそれより若干高めの水準となっているが、いずれにしても93年から比重が低下気味であり、00年の比重は90年代における最低水準にはほぼ等しくなっている。額でいえば、地金銀を除いた00年の輸入額は90年の75.2%にとどまり、92年の額をわずかに上回る水準でしかなかったのである。ビクトリアが93年恐慌の中心地であり、オーストラリア最大の打撃をうけ、なかなか停滞を抜け出せず輸入額が低迷していたことを示しているといえよう。NSWとビクトリア両地域の比重を合計すると、地金銀を含む含まないにかかわらず、90-92年に全体の7割を上回っていたのが、

93年に60%台となり、その後90年代を通して65%前後を推移している。他の地域のうち南オーストラリアが15%前後、クィーンズランドが10%前後を占めている。したがって、ビクトリアの比重低下が大きいとはいえ、依然としてNSWとビクトリアはオーストラリア輸入の非常に大きな部分を占めているのである。輸出とあわせてこの2地域がオーストラリア貿易の大宗を占めていることを確認することができよう。

したがって、以下では主としてNSWとビクトリアを中心にオーストラリアの貿易動向を検討する。他方で、西オーストラリア、タスマニア、北部地域については、必要な限りでのみふれるにとどめる。

II 輸出

NSWの輸出から始めよう。ベアリング恐慌以降の世界的な経済悪化をうけ、地金銀を含む総額では、90年に前年より5.4%の低下をみた後、91年には2割近い回復を記録したものの、92年には再度15.3%と大幅に低下し、94年にも1割をこえて低下し90年代の底となった。その後の上昇幅は小さく、97年の水準はなお91年を下回るものであった。98年の16.4%の増加によりようやく91年の水準を上回るに至っている(表2)。

地金輸出額が90年代後半に増加傾向にあるから、地金銀を除くとこの回復過程は一層遅れることになる。地金銀を含まない輸出額のさしあたりのピークは91年であるが、94年の底までには17.7%の低下となっており、97年まで92, 93年の水準を超えることもなかった。そして99年ようやく91年の水準を上回ることになるのである。90年代半ばの一般商品の輸出は景気回復に大きな役割を果たすことはできなかったであろう。

相手地域でみると、イギリスを含むイギリス帝国圏向けが92年に19.1%、94年に10.6%低下し、さらに96, 98年にも前年より低下した。90年代全体を通じた上昇幅は総額のそれよりも小さく、総額に占める比重が低下している。すでに90年の低下によって前年の比重から3ポイント低下し、92年には3.6ポイント低下している。90年に84.3%を占めていた帝国圏は98年に62.0%、99年に

表2 NSWとビクトリアの地域別輸出

NSW

(千ポンド)

		1889	1890	1891	1892	1893	1894	1895	1896	1897	1898	1899	1900	1901
イギリス		8,964.6	6,623.4	8,855.5	7,653.9	8,269.5	7,956.4	9,371.4	8,375.9	8,728.8	7,734.9	8,992.5	8,273.3	7,648.0
英領	ビクトリア	5,385.3	5,386.6	5,443.7	4,278.9	3,620.3	3,129.7	3,078.0	3,296.5	2,962.0	3,294.6	3,703.3	3,977.8	4,111.1
	南オーストラリア	2,999.7	3,700.1	4,528.0	2,988.4	3,889.5	3,108.6	2,314.7	2,720.4	2,587.3	2,217.0	2,665.0	3,259.5	4,529.2
	西オーストラリア	16.6	17.8	35.3	32.2	28.5	83.8	143.4	533.3	709.5	635.3	364.1	446.0	469.2
	タスマニア	174.9	215.7	252.4	226.9	209.5	180.6	152.5	167.4	186.9	324.4	333.7	377.0	327.1
	クイーンズランド	1,747.9	1,670.5	1,063.8	1,105.2	1,599.9	970.9	1,416.3	1,227.8	1,342.3	1,001.1	1,796.2	1,918.9	1,693.9
	ニュージーランド	416.8	294.1	280.0	286.1	533.3	770.4	486.2	429.6	386.6	512.8	662.0	826.7	906.3
	計	11,316.6	11,958.9	12,211.1	9,399.2	10,300.3	8,639.8	7,951.7	8,895.2	8,777.1	9,400.6	10,975.9	12,294.1	11,969.9
帝国圏		20,281.3	18,582.4	21,066.6	17,053.1	18,569.8	16,596.2	17,323.1	17,271.0	17,505.9	17,135.5	19,968.4	20,567.4	19,617.8
	フランス	104.1	233.9	480.6	806.7	1,134.1	1,067.4	1,436.1	1,472.9	1,543.5	1,699.6	2,127.5	1,024.3	1,502.3
	ドイツ	519.4	404.3	437.5	1,017.5	979.8	917.3	1,141.7	771.4	880.4	1,158.8	1,286.2	844.5	1,363.5
	ベルギー	725.7	1,011.8	1,039.3	951.6	1,121.6	1,121.8	780.8	877.9	668.5	887.3	1,565.9	620.3	1,093.9
	アメリカ	1,130.6	1,300.4	2,313.7	1,530.0	626.6	374.5	683.6	2,065.0	2,462.3	5,951.3	2,392.3	3,981.2	2,539.1
	合計	23,294.9	22,045.9	25,944.0	21,972.2	22,921.2	20,577.7	21,934.8	23,010.3	23,751.1	27,648.1	28,445.5	28,164.5	27,351.1

ビクトリア

(千ポンド)

		1889	1890	1891	1892	1893	1894	1895	1896	1897	1898	1899	1900	1901
イギリス		7,036.6	6,850.0	7,993.5	7,559.5	7,490.8	8,484.8	8,068.1	6,704.1	9,559.2	6,740.4	5,648.2	6,363.7	5,425.8
英領	NSW	2,114.0	2,034.6	2,556.0	2,269.6	1,693.7	1,443.0	1,357.4	1,413.0	2,270.9	4,263.2	2,436.2	2,953.5	2,992.3
	南オーストラリア	616.1	610.0	831.7	461.3	667.0	271.9	394.9	846.6	609.1	357.8	526.5	463.0	524.0
	西オーストラリア	83.7	132.3	188.9	209.6	231.7	645.5	1,562.7	2,118.8	1,167.2	870.3	795.4	852.2	988.5
	タスマニア	493.8	609.1	722.0	423.0	347.0	332.0	441.3	427.8	462.4	542.9	656.3	676.0	699.3
	クイーンズランド	358.3	327.1	304.2	288.7	347.1	300.1	367.8	271.4	232.4	335.9	423.8	312.5	366.8
	ニュージーランド	356.2	336.0	306.3	321.8	315.9	398.4	331.0	272.5	219.7	262.6	345.1	437.3	465.7
	計	4,566.3	4,881.8	5,571.4	4,165.2	3,976.6	3,604.5	4,826.1	5,691.8	5,517.2	7,388.4	9,209.3	8,998.2	10,886.0
帝国圏		11,602.8	11,731.8	13,564.9	11,724.7	11,467.4	12,089.3	12,894.2	12,395.9	15,076.4	14,128.8	14,857.5	15,361.9	16,311.8
	ベルギー	597.6	654.7	363.9	459.4	335.4	404.1	320.0	272.8	198.5	225.4	612.6	203.2	265.3
	フランス	133.5	452.8	978.9	953.7	951.0	582.5	224.1	732.2	740.6	806.5	1,482.6	730.8	636.3
	ドイツ	218.7	240.1	387.3	678.4	246.3	491.8	560.1	430.5	480.8	544.0	767.5	328.8	546.6
	フィリピン	17.0	8.0	298.4	96.4	266.8	277.4	216.7	36.6	24.8	46.4	478.7	470.3	496.2
	アメリカ	153.6	155.9	385.7	241.4	16.5	152.8	281.4	283.8	185.3	67.6	235.0	120.1	249.6
	合計	12,734.7	13,266.2	16,006.7	14,214.5	13,308.6	14,026.5	14,547.7	14,198.5	16,739.7	15,872.2	18,567.8	17,422.6	18,646.1

出所) *Ibid.*, pp.164-7, より作成。

70.2%にまで低下している。

その原因の一つが対イギリス輸出である。イギリス向けの輸出は90年に4分の1以上低下、92年にも13.6%低下する一方、95、99年にはそれぞれ17.8%、16.3%増加するなど変動が激しく、結局99年の水準は89年の水準とほぼ等しくなっている。しかし、比重で見ると、95年には42.7%とピークに達しているものの、80年代末の40%前後から、00年前後には30%前後へとほぼ10ポイント低下することになっている。

また、第2位の輸出相手地域であるビクトリア向けは、その景気悪化を反映して、91年をピークに96年を除いて減少を続け、97年には90年の55.0%の水準となっている。この間、90年には全体の24.4%を占めていたのが、98年には11.9%にまで比重を落としている。また、南オーストラリア向けは、90、91年に2割を越す上昇を記録した後、低下気味ながら高水準を持続し、ビクトリア向け減少を補う形になったが、97年以降は低下していった。比重は90、91、93年に16%を上回ったが、98、99年には1割を割込んでいる。

これに対して地位を上昇させたのが欧米諸国であった。アメリカ向けはアメリカ景気の悪化により93~95年には低水準となったが、それ以降回復し、10%前後の比重を維持している。また、フランス、ドイツ、ベルギー向けも92年頃から相次いで100万ポンドを上回るようになり、90年代末には合わせて十数パーセントを占めるようになっている。アメリカ向けはクイーンズランド向けを上回るようになり、ヨーロッパ3国もそれに近い水準になっているのである。この時期イギリス帝国圏諸国の輸出相手がイギリス本国からイギリスを除く欧米工業諸国に移る方向に向かったのと、同様の傾向をみることができよう。

次に品目別の動向をみよう(表3)。輸出品目で圧倒的に大きいのが羊毛である。ただし、額としては91年にとりあえずのピークに達した後低下し、97年までに91年の2割以上低下の後、99年には91年より3.8%高い新たなピークに達している。ただし、全体に占める比重は当初94年の46.8%にまで上昇してから低下し、00年には3割を割込むにいたっている。地金は94年を除き200万ポンド以上を推移し、96年以降は新たなゴールドラッシュを背景に300万ポンド以上を継続している。その比重は94年を除いて10%台を維持し、96年からは20

表3 NSWとビクトリアの品目別輸出

NSW

(千ポンド)

	1889	1890	1891	1892	1893	1894	1895	1896	1897	1898	1899	1900	1901
石炭	1,319.3	987.2	1,306.6	1,028.4	814.9	804.8	774.0	900.3	952.1	962.7	1,005.8	1,273.0	1,681.8
織物、衣類	325.4	301.1	317.0	221.7	191.9	183.6	233.4	294.7	252.4	310.4	415.9	482.4	426.3
皮革	553.4	442.6	642.5	878.5	1,014.2	807.2	1,219.2	977.4	1,076.8	1,180.9	1,475.3	1,192.1	1,152.6
家畜：馬	143.4	193.1	163.8	202.9	107.5	96.7	97.5	127.1	169.1	173.2	213.1	388.7	330.3
牛	516.0	822.6	725.0	406.2	247.1	143.7	132.0	222.7	255.7	297.4	135.8	308.1	313.2
羊	500.7	1,192.0	662.3	500.5	288.3	305.7	299.2	259.0	411.4	509.0	519.5	460.7	660.2
銀錠	1,899.5	2,667.5	3,487.0	2,434.3	2,979.0	2,226.5	1,573.5	1,884.5	1,686.6	1,658.1	1,985.0	2,522.1	1,804.0
羊毛	10,785.1	9,232.7	11,313.0	10,514.1	10,449.9	9,628.1	9,976.0	9,897.3	8,920.3	9,457.5	11,738.6	8,342.6	9,467.3
地金：金	44.6	137.2	143.1	29.1	25.9	332.7	435.0	283.5	408.7	404.6	922.9	460.5	254.5
銀	74.5	97.4	136.8	58.7	95.1	103.1	91.7	42.8	23.4	61.2	77.0	104.0	254.5
正貨：金	3,158.0	2,151.9	3,589.8	2,234.5	2,969.9	1,975.6	2,710.6	3,603.0	4,346.6	6,529.1	3,489.3	5,389.8	4,063.6
銀	5.8	16.3	8.8	12.4	9.2	12.8	7.7	13.2	19.9	29.9	62.5	60.7	36.5
合計	23,294.9	22,045.9	25,944.0	21,972.2	22,921.2	20,577.7	21,934.8	23,010.3	23,751.1	27,648.1	28,445.5	28,164.5	27,351.1

ビクトリア

(千ポンド)

	1889	1890	1891	1892	1893	1894	1895	1896	1897	1898	1899	1900	1901
衣類	154.5	167.7	191.8	109.7	87.3	85.6	105.6	151.1	164.3	136.8	149.8	179.8	205.3
バター	37.8	60.4	228.2	355.9	573.9	808.9	978.7	874.7	886.0	736.3	1,404.8	1,489.9	1,244.6
小麦粉、ビスケット	319.9	393.1	488.3	510.2	350.5	300.3	226.2	78.4	51.5	178.5	280.5	259.1	324.4
穀物：燕麥	2.8	4.7	6.8	10.8	35.4	19.9	31.7	10.1	27.4	57.9	38.2	285.0	260.2
小麦	84.1	114.4	909.6	776.3	717.1	660.7	403.8	91.6	226.0	324.0	1,252.1	892.5	1,443.8
家畜	538.9	476.5	457.2	443.5	271.4	281.5	293.6	337.2	329.6	260.0	352.1	705.6	688.2
肉類：冷凍：牛													
羊				12.4	74.9	126.9	194.0	179.0	130.2	121.1	252.0	288.8	266.8
うさぎ							10.9	34.0	51.1	56.5	116.7	145.2	105.0
加工	18.9	23.6	22.4	54.2	16.1	44.9	47.7	81.5	95.0	47.4	56.2	73.6	70.1
紅茶	355.2	367.9	338.8	364.8	265.1	271.3	228.7	179.7	155.9	160.9	160.9	148.7	191.8
羊毛	5,928.9	5,933.7	7,165.1	6,619.1	5,103.9	4,742.5	5,151.2	4,959.4	3,999.8	4,037.0	5,701.4	4,217.0	4,351.1
地金：金	296.4	516.4	423.7	4.6	96.0	35.8	122.5	64.6	193.8	271.0	197.6	86.6	96.3
銀	5.6	9.4	0.2	4.3	6.0	1.3	4.9	0.3	0.1	0.0	0.3	0.3	0.7
正貨：金	1,983.9	2,223.1	2,217.7	1,844.4	2,755.2	3,682.9	3,628.2	3,234.3	6,278.5	5,650.7	4,164.2	4,045.5	4,202.3
銀	17.8	13.1	21.0	11.2	11.4	15.2	8.4	10.6	2.3	24.5	28.9	23.0	6.1
合計	12,734.7	13,266.2	16,006.7	14,214.5	13,308.6	14,026.5	14,547.7	14,198.5	16,739.7	15,872.2	18,567.8	17,422.6	18,646.1

出所) *Ibid.*, pp.70-3, 80-1, より作成。

%前後を維持している。以上の二者で全体の6割弱を占め、羊毛の比重の大きさが明らかである。その他では銀、鉛、石炭、獣脂、木材、穀物、羊等家畜、皮革製品などが1割には達しないが一定の比重を占めている。94年の低下については、羊毛、地金、皮革製品、銀など、特に前2者の低下が大きい。

ビクトリアの検討に移ろう(表2)。ビクトリアの輸出は90年に増加に転じ、91年に20.7%さらに増加してから、91年に11.2%低下した後、96年まで停滞状況が続き、97年になって91年の水準を上回るに至っている。地金銀の輸出が比較的高水準を続けているため、地金銀以外の輸出については、91年に27.0%増加した後、92年に7.4%、93年に15.4%減少し、その後停滞し、99年における42.8%の増加でようやく91年の水準を上回ることになった。基本的には90年代を通して停滞傾向が続いていたわけである。

相手地域別にみると、イギリスを含む帝国圏向けは輸出総額とほぼ同様の動きを示している。ただ、90年代前半の減少幅が大きく、半ばの増加が大きいため、帝国圏向けの比重は92年まで低下した後、97年まで上昇している。そして、その後は99年を除いてほぼ同じ水準を維持している。いずれにしても帝国圏向けの比重は低下した92年でも82.5%で、97年には90.1%となっており、全体として非常に高い水準を維持している。

中でも、イギリス向けの輸出額が大きく、90、92、93年にわずかに低下しているが、94年には91年を6.1%上回り、96年の低下の後97年には91年を19.6%上回る水準に達している。ただし、その後対イギリス輸出は大きく低下に向かうことになる。総額に占める比重はだいたい50%台を維持しており、90年代の経済低迷の中でイギリスのもつ意味が大きい。しかし、98年からは比重も急落し、01年には30%を割込むに至り、90年代末になって、NSWとほぼ同程度の比重水準になっている。他方、他の帝国圏の比重が小幅ながら増加している。

NSW向けはオーストラリア内の経済悪化を反映して92年に11.2%低下した後、93年には25.4%の大幅な低下を記録し、95年が底で91年の53.1%の水準である。さしあたり経済回復への要因とはなりえなかったわけである。しかし、その後回復に向かい98年には87.7%も増加し、90年代のピークとなっている。NSWの比重は90年代半ばに低迷しているが、97年頃には90年代初頭とほぼ同

じ水準に回復している。他にはゴールドラッシュを反映して西オーストラリア向けが90年代半ばに高水準になっているが、それ以外の各地域向けの比重はほぼ安定している。かくてビクトリアの輸出では総額が低迷する中で、帝国圏向けが全体として安定的に高水準の比重を占めていた。帝国圏以外ではベルギー、フランス、ドイツ、アメリカ等の比重が相対的には高めではあるが、基本的にはこの時期にはなお低い水準に留まっていたのである。

品目では羊毛が大きかったのであるが、91年をピークに94年にはその66.2%にまで低下し、その後はほぼその水準を推移することになった(表3)。全体に占める比重は92年が90年代のピークであり、97年には23.9%にまで低下している。90年代前半の輸出低下はこの羊毛輸出の低下が大きかったのである。他方で、地金が90年代半ばから増加しており、比重も、97、98年に35%前後となり、その後は20%台前半を推移するに至っている。この限りではNSWの動向と類似しているが、羊毛と地金とを合わせた比重が低下する分、他の品目の地位が上昇していることになる。具体的にはバター、小麦、家畜等である。いうまでもなく、この時期の経済開発、輸送手段の改良の推移を表しているわけであるが、それらの比重がそれぞれなお1割に満たない限りでは、まだ羊毛と地金のもつ意味が圧倒的に大きかった。しかし、90年代末の輸出増加時には羊毛、地金は低下しており、バター、小麦の伸びが大きかったことは、帝国圏向けの比重低下と合わせて次の時代に向けて注目すべき動向であろう。

続いて以上2地域には及ばないが、それらに次いで一定の輸出額を維持していたクイーンズランドと南オーストラリアをごく簡単にみておこう³。

クイーンズランドは地金銀を含むと単純合計額全体の15%強を占めていた。地金銀の輸出がほぼ200万ポンド台で安定していたので、それ以外の品目の輸出と輸出総額との動きはほぼ同じものとなる。輸出総額は91年に小幅な低下を示してから93年までに16.0%増加し、94年に10%近い低下をした後はほぼ順調に回復してゆき、99年がピークとなっている。全体として変動が比較的小さく、他の地域に比べ安定的に推移しているのが特徴的である。

相手地域では、イギリスを含む帝国圏が95%以上と圧倒的な地位を占め続け

³ 以下特に断らないが、出典はNSW、ビクトリアと同じである。

ている。この中ではイギリスは27.7%である90年を除いて30%台後半から40%台を占めている。これに対してNSWが90年に66.4%を占め、その後低下しているとはいえ、最低の98年でも44.0%と単独で非常に高い比重を占め続けた。絶対額でみると93年がさしあたりのピークであるが、その後の低下は小幅で、底となる96年にも93年の83.7%の水準を維持している。オーストラリ内で次に大きいのがビクトリア向けである。恐慌が発生した93年に22.0%低下してから増加を続けているが、額はおよそNSWの1割程度の水準で、全体に占める比重は98年にのみ1割を上回っている。輸出の圧倒的部分がNSWとイギリスに向けられていたのである。

品目では、羊毛が92年に90年より66.5%高い水準にまで増加し、総額の45.8%を占めるなど当初圧倒的であったが、その後低下してゆき、00年には絶対額で92年の52.1%、比重は23.0%にまで低下している。他方、地金は20%台を安定的に推移している。これらを合わせた比重はすでにみた2地域に比べ相対的には低く、その意味ではクイーンズランドの輸出品目は多様化していたといえよう。その中で当初から高めの比重を占めていたのが、90年に22.9%の家畜と、8.2%の砂糖である。これらは変動を伴いつつも90年代に一定の比重を占め続けていた。さらに、90年代後半に伸びたのは肉類であり、とりわけ冷凍肉、冷蔵肉の輸出が増加していった。それらの比重は90年には1%に満たなかったが、00年には10%を上回るに至っており、世界経済の構造変化を反映したものといえよう。

南オーストラリアの地金輸出は他地域と比べ少額であり、額も安定的に推移している。輸出総額は91年に突出して19.1%増加したが、翌92年には25.6%の大幅な低下を記録し、その後増減はあるものの、低下傾向を辿った。クイーンズランドにオーストラリアにおける輸出第3位の地位を譲ることになっている。98年には91年の64.6%の水準まで低下し、99年に回復したが90、93年の水準には及んでいない。

相手地域では、イギリスを含む帝国圏が90年代前半には90%台後半を占め、その後低下したものの90%前後の高水準を維持している。その中では当初イギリスが大きかったが、91年をピークに97年までに51.8%もの低下を記録した。

当初の比重は高く、90年には48.7%を占めていたが、その後94年には40%を割込み、90年代後半は30%台前半となっている。これに対して、NSWが91年にすでに37.2%を占めていたのが、95年に23.8%にまで低下したものの、その後比重を回復し、98、00年には3割を越え、00年にはイギリスを上回る比重となっている。この両地域の90年代半ばの比重低下の中で比重を高めたのはセイロンと西オーストラリアであり、この2地域の比重は90年代末には低下しているものの、ビクトリアと共に一定の比重を占めている。ビクトリア向けの輸出については、90年をピークに97年までは基本的に低下傾向にあり、特に大きな額とはなっていないこと、恐慌後の93年以降に明確な変化がみられないこと、をさしあたり確認しておこう。帝国圏以外ではドイツ、ベルギー、フランスが相対的には高めの比重を占めているが、いずれも5%に達した年はない。

品目では、地金の比重が他地域に比べ低い。羊毛は90年代前半には4分の1程度を占めていたが、次第に比重を落とし、90年代末には2割を割込むようになっていく。銀、地銀も、とりわけ90年代前半を中心に大きな額となり、羊毛を上回ったが、その後急速に比重を落としている。その他では小麦、小麦粉、銅などが相対的に大きな比重を占めている。

III 輸入

次に輸入の動向をみよう。

まずNSWの輸入である(表4)。地金銀を含んだ輸入総額は91年に12.2%増加した後、92年の18.2%など大幅な下落を94年まで続け、底となっている94年には91年の62.3%の低い水準となっている。景気の急速な悪化を反映したといえよう。その後96年に28.6%の大幅な回復を記録してから順調に増加を続け、99年に91年の水準を上回るにいたっている。オーストラリアの単純合計額全体に占める比重はこの間ほぼ30%台後半を維持している。地金銀の輸入はオーストラリア植民地の中では最大である。恐慌発生の93年に高水準であったのを除いてはほぼ同水準を続け、97年から増加している。これを除いた輸入額はこれを含んだ総額とほぼ同様の動向を示しているが、94年の底は91年のピークの

表4 NSWとビクトリアの地域別輸入

NSW		(千ポンド)														
		1887	1888	1889	1890	1891	1892	1893	1894	1895	1896	1897	1898	1899	1900	1901
イギリス		7,998.6	9,213.0	8,736.5	8,628.0	10,580.2	8,884.0	7,218.1	5,983.5	6,420.1	7,190.1	7,557.1	7,744.4	8,211.4	9,923.1	10,102.9
英領	インド	147.6	209.0	169.6	195.4	260.3	180.5	184.3	201.8	212.3	203.2	259.9	310.3	368.1	390.7	393.9
	セイロン	12.4	22.1	21.3	43.7	55.5	50.7	71.0	81.1	94.6	113.4	132.9	144.1	200.5	213.2	217.6
	香港	268.1	348.1	423.5	271.7	273.4	239.6	191.5	182.5	181.5	75.9	76.5	81.6	73.9	67.9	60.5
	ビクトリア	2,894.7	2,472.6	2,419.0	2,097.3	2,818.9	2,432.4	2,020.4	1,583.2	1,499.6	2,115.7	2,854.5	5,301.2	2,905.7	3,396.8	3,411.0
	南オーストラリア	1,250.8	1,831.4	1,858.6	2,036.5	2,746.8	1,461.8	1,007.3	854.2	911.2	1,436.9	1,185.1	1,112.4	1,306.4	1,439.5	1,290.7
	西オーストラリア	0.5	0.5	1.3	0.8	9.3	13.3	8.9	23.3	32.3	25.4	51.2	54.7	193.8	147.9	187.6
	タスマニア	587.3	515.4	505.6	432.6	377.2	453.6	356.6	342.5	303.3	597.7	414.2	589.1	703.3	548.5	524.3
	クイーンズランド	3,517.7	3,477.6	4,667.7	5,482.5	4,303.5	4,122.8	4,746.2	4,506.5	4,011.8	4,679.5	4,467.9	4,663.6	5,759.3	4,631.4	3,954.3
	ニュージーランド	757.1	788.0	1,195.1	932.1	871.4	717.3	756.4	484.5	563.5	704.7	629.4	746.0	1,245.0	1,348.6	953.3
	計	9,566.4	9,821.8	11,462.0	11,645.0	11,894.1	9,778.9	9,461.3	8,402.5	7,932.7	10,185.0	10,458.9	13,331.5	13,043.2	12,517.8	11,378.7
帝回国		17,564.9	19,034.8	20,198.5	20,273.1	22,474.4	18,662.9	16,679.4	14,386.0	14,352.8	17,375.1	18,015.9	21,075.9	21,254.5	22,441.0	21,481.7
	フランス	157.7	154.9	179.9	117.9	120.3	77.4	49.4	70.6	76.7	146.0	211.3	214.5	259.2	270.1	251.6
	ドイツ	297.0	481.0	533.1	639.5	773.0	581.4	373.2	345.4	425.7	690.8	900.5	771.6	856.0	1,105.7	1,206.6
	ベルギー	37.7	64.8	88.8	130.8	188.3	227.4	129.1	115.1	150.3	104.3	77.6	98.1	107.2	147.7	153.0
	中国	251.7	309.9	257.4	241.8	270.9	218.0	164.5	131.0	133.9	190.5	187.6	151.2	191.3	190.5	111.0
	アメリカ	693.4	967.5	1,094.7	893.1	1,277.0	823.5	526.3	542.4	624.3	1,729.9	1,887.9	1,603.0	2,219.3	2,558.0	2,803.6
	合計	19,171.3	21,229.3	22,863.1	22,615.0	25,383.4	20,776.5	18,107.0	15,801.9	15,992.4	20,561.5	21,744.4	24,453.6	25,594.3	27,561.1	26,928.2
ビクトリア		(千ポンド)														
		1887	1888	1889	1890	1891	1892	1893	1894	1895	1896	1897	1898	1899	1900	1901
イギリス		8,290.0	10,851.7	11,414.7	9,607.2	8,953.6	6,857.1	5,511.7	4,831.0	4,759.5	5,923.4	6,004.8	6,195.1	5,990.0	7,055.0	7,221.8
英領	インド	371.9	488.0	252.9	404.3	404.1	339.8	251.0	297.8	215.2	220.3	282.1	287.8	347.8	483.4	480.7
	セイロン	41.4	51.9	77.3	100.8	99.2	138.3	121.8	105.3	113.7	127.2	143.0	149.4	159.7	173.4	206.7
	モリシャス	246.3	383.7	390.2	423.7	273.2	111.5	42.9	151.2	108.5	140.9	123.1	64.7	36.9	40.2	64.7
	香港	234.9	282.2	353.9	286.8	168.6	258.0	128.4	102.5	115.2	114.7	172.0	142.9	113.2	110.4	100.0
	NSW	5,256.6	6,609.6	6,326.4	6,570.0	6,644.3	5,308.2	4,005.9	3,386.8	3,208.4	3,387.9	3,336.7	3,461.9	3,990.6	4,136.3	4,597.9
	南オーストラリア	520.2	584.9	633.0	544.3	585.4	510.2	388.1	408.4	398.4	378.8	375.0	402.1	522.0	513.0	492.7
	西オーストラリア	18.8	25.4	90.7	112.0	9.4	185.0	350.5	739.7	877.6	902.2	1,562.6	2,224.6	2,119.6	780.3	276.8
	タスマニア	347.5	394.5	418.1	308.2	328.7	306.7	321.1	291.7	308.7	353.9	341.1	234.6	352.1	346.1	355.4
	クイーンズランド	477.9	159.3	189.1	258.2	252.3	211.2	309.3	553.3	669.5	793.1	805.4	935.7	1,066.2	588.4	517.7
	ニュージーランド	706.5	710.7	882.6	605.5	757.1	528.7	460.0	277.9	296.5	404.8	331.8	361.4	356.3	404.4	619.9
	フィジー	62.2	77.4	65.8	67.6	65.0	46.9	40.8	50.2	41.6	45.4	61.2	49.8	33.6	0.7	0.2
	計	8,328.3	9,918.7	9,818.7	9,846.7	9,816.9	8,035.9	6,453.6	6,401.2	6,401.8	6,924.6	7,585.9	8,406.5	9,176.3	7,703.7	7,894.4
帝回国		16,618.3	20,770.4	21,233.3	19,453.9	18,770.5	14,893.0	11,965.3	11,232.2	11,161.3	12,848.1	13,590.7	14,601.6	15,166.3	14,758.7	15,116.3
	スウェーデン	149.0	164.9	203.7	201.6	91.1	28.3	28.7	0.5	0.3	8.7	0.1	11.4	29.6	14.4	44.4
	ノルウェー	179.8	285.8	308.5	363.9	210.0	146.8	42.0	64.7	79.4	87.1	104.7	96.5	184.0	225.4	230.6
	ベルギー	73.3	115.8	111.1	121.1	94.3	114.6	48.7	76.0	93.8	136.5	142.9	122.2	138.1	198.6	197.3
	蘭領	179.8	220.9	239.2	402.0	553.3	590.6	323.2	246.2	95.6	154.1	156.4	55.1	42.8	340.2	476.0
	フランス	182.2	197.1	181.5	174.5	156.3	58.8	37.4	57.9	132.5	166.0	142.9	199.8	160.1	207.8	141.1
	ドイツ	298.3	392.0	606.7	682.2	577.4	473.6	266.2	284.7	343.4	469.8	546.6	578.3	631.2	778.1	822.7
	中国	585.3	598.5	444.5	399.6	395.3	220.2	167.9	118.4	130.8	83.5	48.4	56.8	71.8	84.2	30.0
	日本	9.4	16.1	22.7	49.2	34.6	25.6	13.9	27.2	27.4	32.6	61.0	80.7	78.2	82.0	86.2
	アメリカ	671.2	1,112.5	991.0	1,069.3	785.6	588.1	354.6	333.9	359.7	516.9	590.7	883.7	1,323.8	1,461.9	1,537.6
	合計	19,022.2	23,972.1	24,402.8	22,954.0	21,711.6	17,174.5	13,283.8	12,470.6	12,472.3	14,554.8	15,454.5	16,768.9	17,952.9	18,301.8	18,927.3

出所) *Ibid.*, pp.164-7, より作成.

56.1%であり、この時期の地金以外の一般商品輸入の下落がより一層大きくなっている。

相手地域をみてゆこう。イギリスを含む帝国圏は91年に10.9%増加した後、92年に17.0%低下してから95年まで低下を続け、91年の63.9%の水準となっている。その後は急速に回復に転じ、98年に90年と、00年に92年とほぼ同じ水準に回復している。すなわち、全体の動向とほぼ同様の動きとなっており、全体に占める帝国圏の比重の変化は比較的小幅である。しかし、95年まで90%前後であったその比重は96年以降低下するようになり、01年に80%を割込むことになっている。その中でイギリスは90年代半ばにかけて下落幅が相対的に大きくその後の回復も小幅である。このため、イギリスの比重は92年に42.8%とピークになった後、95年に一度は4割を回復したが、その後は30%台前半を推移し、00年になり36.0%に回復している。

第2位の輸入相手地域はクイーンズランドであり、90年にピークに達した後、91年に21.5%減少してからそれに近い水準を98年まで続けることになっている。このため、比重は91、92年に低下した後、とりわけ93-95年には4分の1を上回る水準となっている。その後は20%前後の水準となっている。

ビクトリアが第3位の輸入相手地域である。91年のピークの後低下するが、下落幅の大きいのは94年の21.6%であり、95年の底の後、96年には41.1%、98年には85.7%の増加を記録している。99年には再び45.2%の大幅な低下を記録するが、91年を上回る水準を推移することになっている。こうして比重は90、95年に1割を下回っているものの、それ以外では11%前後の安定した水準を維持し、97年からはそれより高い水準を推移することになっている。南オーストラリアは当初これに続く第4位の輸入相手であった。90、91年と比較的大きな増加を記録し、ビクトリアに迫る水準となったが、その後の低下の後には回復が小幅であった。91年に1割を上回った比重は96年に7.0%に回復した以外はせいぜい5%台となっている。

帝国圏以外ではアメリカとドイツが大きく、91年をさしあたりのピークとして低下し、95年から本格的に回復している点は共通している。アメリカは96年に8.4%を占め、10%弱の水準を維持することになる。ドイツは97年に4.1%を

占めている。

輸入品目をみることにしよう(表5)。地金銀、正貨が最大品目となっており、90年代半ばに比重が低めとなり10%台前半であるが、20%強を占める年もあった。正貨が増加したのは、93、97、98、00年であった。織物・帽子、衣類がその次に大きな額を占めている。いずれも91年をピークに、94年までに40%前後もの低下を示し、その後の回復も緩やかで、00年にも91年の水準を上回ることはできなかった。ただし、輸入総額の減少の方がむしろ大きいこともあり、それらの比重は90年代半ばには91年の水準を上回り、00年代にはむしろ低下し、8%弱、5%強を占めている。したがって、90年代前半に全体として20%弱あった繊維関連製品は、90年代末には10%台前半に低下していたのである。消費財需要の低迷を推測することができよう。

その次に大きかったのは鉄鋼製品である。91年に急増した後、93年の53.0%など大きく低下し、95年まで低迷し、その後、00年まで順調に増加することになった。しかしその比重は91年に5.7%を占め、93年に2.8%にまで低下した後、大きな回復をみせず、00年によく5.1%となっている。また機械も同様の動きを示しているが、94年に91年の35.1%まで低下した後、00年には4.5倍にまで増加し、比重も3.2%を占めるにいたっている。NSWにおける経済開発の様相を反映した動向ということができよう。なお、羊毛の輸入が90年代後半には増加しており、その比重も95、99年には6%台となっている。

次にビクトリアの輸入についてみることにしよう(表4)。

地金銀を含んだ総額でみると、輸入のピークは89年であり、NSWを上回る輸入額であった。ところが、90年に5.9%低下してから、92、93年にはいずれも20%を上回る幅で激減し、底となる94年には89年の51.1%とほぼ半減したのである。この時点でNSWの78.9%の水準である。その後一定の回復をみせるが、その伸びはNSWに比べ小幅で、00年にも89年の75.0%にまでしか回復していない。順調に回復したNSWの66.4%の水準にとどまっているのである。90年代の経済停滞の厳しさが現れているといえよう。

地金銀の輸入は93、97、98、99年と増加しているが、それ以外では大きな変動はない。これを除いた輸入額の動向は、これを含んだ輸入総額の動向と大き

表5 NSWとビクトリアの品目別輸入

NSW	(千ポンド)												
	1889	1890	1891	1892	1893	1894	1895	1896	1897	1898	1899	1900	1901
衣類	3,368.9	3,405.0	4,432.6	3,416.5	2,548.8	2,475.0	2,884.4	3,080.5	2,791.4	2,874.1	3,070.6	3,644.0	3,575.5
二輪車、三輪車	5.0	6.0	8.7	11.7	73.7	17.2	35.0	205.5	236.0	126.1	98.1	101.4	95.2
靴	584.5	552.2	640.3	455.8	356.3	287.0	297.8	381.2	303.6	316.7	348.3	464.7	426.6
マウス	114.1	192.5	374.0	171.4	64.6	36.7	25.8	135.1	102.4	12.3	1.6	2.2	1.8
小麦粉	741.2	534.6	703.3	509.8	223.9	214.3	144.7	536.5	624.2	214.5	335.5	82.7	70.4
穀物：燕麥	156.8	152.3	145.4	148.6	158.9	71.0	74.0	106.0	93.7	101.8	167.2	133.8	119.3
小麦	637.5	59.6	194.9	189.5	75.3	28.4	58.4	559.2	190.5	87.6	151.3	15.6	5.2
金物	476.4	621.4	665.3	634.7	349.7	178.4	201.4	261.2	302.5	282.5	349.5	350.6	370.6
鉄鋼製品	852.3	975.8	1,441.6	1,078.8	507.2	575.5	576.5	779.4	879.2	835.2	1,136.6	1,391.0	1,218.0
家畜：牛	823.7	1,866.3	830.1	531.1	538.1	329.7	278.4	564.6	454.7	637.6	586.2	338.1	361.4
羊	416.9	331.9	328.0	232.2	307.2	206.1	156.6	317.4	327.4	227.3	236.2	374.7	245.5
機械	462.8	510.7	544.3	308.9	222.8	190.9	227.4	477.2	517.9	598.7	656.0	867.2	989.1
鉄道レール	60.2	21.7	63.7	63.5	53.4	96.1	160.5	297.3					
砂糖	937.3	772.2	665.6	515.8	534.5	657.4	482.2	528.9	542.4	765.3	743.2	733.6	749.5
紅茶	385.4	401.2	474.1	430.4	345.1	307.2	361.7	288.2	345.6	344.7	430.9	459.2	401.1
スズ	239.7	257.7	220.8	237.2	210.8	178.6	108.7	87.1	61.9	50.8	131.7	90.0	79.5
木材	461.7	436.7	765.3	439.2	338.4	309.8	314.4	354.2	446.3	422.0	481.7	564.7	667.1
羊毛	330.1	277.1	385.5	502.8	803.4	587.9	968.3	1,087.0	892.6	1,088.9	1,589.0	694.8	416.4
羊毛製品	22.3	37.0	86.7	471.0	459.5	503.3	682.8	643.2					
地金：金	2,853.1	2,564.7	2,376.4	2,467.0	2,506.8	2,626.7	2,010.2	1,988.6	2,041.6	1,913.3	2,453.0	2,945.8	2,490.4
銀	0.7	0.6		0.8	0.1	1.7	2.4	16.6	8.1	1.0	4.9	1.9	2.1
正貨：金	27.8	53.8	60.4	118.2	1,501.7	298.8	55.8	481.4	1,149.8	3,664.8	702.2	1,442.6	1,265.8
銀	16.8	43.7	31.4	37.3	35.5	10.0	21.9	9.8	26.3	57.2	70.8	162.1	98.9
合計	22,863.1	22,615.0	25,383.4	20,776.5	18,107.0	15,801.9	15,992.4	20,561.5	21,744.4	24,453.6	25,594.3	27,561.1	26,928.2
ビクトリア	(千ポンド)												
	1889	1890	1891	1892	1893	1894	1895	1896	1897	1898	1899	1900	1901
1889	1890	1891	1892	1893	1894	1895	1896	1897	1898	1899	1900	1901	
二輪車、三輪車	12.7	15.6	17.0	13.3	27.6	44.0	341.8	319.1	155.9	147.5	156.3	144.1	
石炭	753.0	745.6	837.8	675.0	418.5	195.4	201.0	194.0	228.6	257.7	276.1	403.7	446.1
綿布	892.6	905.6	900.2	693.2	673.2	842.9	886.6	929.8	805.2	948.2	813.8	1,043.7	839.4
穀物	299.0	59.6	28.8	12.5	0.6	1.0	3.3	38.5	12.5	0.8	8.6	22.0	
燕麥	49.0	23.7	47.1	47.1	36.4	48.4	46.2	78.4	202.3	117.6	20.3	113.4	234.6
小麦	267.1	148.5	157.1	116.2	68.1	80.8	85.7	121.6	151.9	141.6	168.7	90.9	69.9
鉄鋼	436.2	162.5	10.6	4.2	7.6	69.1	5.6	9.9	42.5	89.9	154.8	63.4	88.4
レール	304.1	285.9	321.6	161.9	143.5	107.0	107.5	162.7	153.5	174.4	191.5	277.0	225.6
その他	607.6	551.8	455.2	320.2	179.6	155.8	177.4	236.6	305.4	270.6	355.1	412.1	400.1
家畜：馬	165.4	189.6	185.5	193.5	101.0	82.6	73.7	105.6	141.6	155.9	181.9	251.7	245.1
牛	464.0	793.3	631.1	352.3	160.9	115.4	100.6	152.0	145.3	237.5	144.2	201.5	322.3
羊	441.2	1,005.7	728.6	437.6	213.2	232.1	184.7	202.0	237.9	332.0	439.5	443.8	522.6
機械	448.4	348.7	258.0	168.6	125.2	94.5	105.1	174.5	210.5	200.9	244.7	213.8	453.9
砂糖	992.8	1,208.8	1,051.8	872.5	619.8	744.2	648.0	787.3	785.7	668.7	683.7	696.9	877.1
紅茶	596.4	666.2	626.2	618.0	412.3	313.7	311.3	283.9	273.3	300.9	335.9	377.0	307.8
木材	1,391.9	1,289.6	897.5	426.1	154.1	150.5	174.1	233.5	262.0	344.0	441.3	569.2	600.3
羊毛	3,595.4	3,190.2	3,372.2	3,437.9	2,552.9	2,517.4	2,368.1	2,270.5	1,964.7	1,808.5	2,351.1	1,927.7	1,840.1
毛織物	1,094.4	877.4	991.7	715.2	469.1	486.9	528.3	667.7	665.7	660.6	674.0	773.8	722.3
地金：金	502.8	563.7	716.5	828.2	893.8	1,270.5	1,419.1	1,474.1	2,082.0	2,617.4	2,625.5	1,264.3	918.7
銀	3.9	2.7	1.6	0.7	0.0	0.1	0.1	0.1	0.5	1.3	2.2	2.4	1.9
正貨：金	217.2	36.3	325.6	0.0	1,155.2	17.4	2.5	3.2	11.1	7.6	180.4	204.6	275.0
銀	1.2	66.5	37.4	0.5	1.1	5.4	4.3	19.6	13.6	68.8	60.8	63.0	48.8
合計	24,402.8	22,954.0	21,711.6	17,174.5	13,283.8	12,470.6	12,472.3	14,554.5	15,454.5	16,768.9	17,952.9	18,301.8	18,927.3

出所) Ibid., pp.66-9, 74-9, より作成.

く変わるところはない。92年には20.8%、93年には31.3%と大きく低下し、底は95年であり、89年の46.7%と半分以下に割込む大幅な低下を示している。00年には95年の1.5倍まで増加しているが、なお89年と比較すればその70.8%に過ぎない。88、89年とオーストラリア植民地の輸入の4割を上回る重要な市場を形成していたのに、オーストラリアの輸入の単純合計額の97年には25.6%、00年にも26.8%とその地位を低下させてしまい、99年に39.2%を占めたNSWに大きく地位を逆転されてしまったのである。オーストラリア内でとりわけ景気悪化の影響を強く受けたことが知られよう。

相手地域では、帝国圏が89年をピークに急減しているが、比重は98年まではむしろ上昇気味であり、その意味ではこの地域からの輸入減少は相対的に小幅だったということになる。とりわけ93、94年には90%を上回っており、NSW同様、経済の悪化の中、帝国圏外からの輸入がより一層縮小したことになる。その後、回復は全体の動向と当初一致した動きを示してはいたが99年の増加は3.9%の小幅で、00年には2.7%と小幅ではあるが再び低下しており、帝国圏の比重は00年には80.6%にまで低下した。

この中でイギリスが最大の輸入相手先であるが、ここでも89年のピークから95年には41.7%にまで低下している。その後の回復もはかばかしくなく、00年は89年の61.8%と総額以上に大幅に低下した水準となっている。ただし、比重は小刻みに変化し、91、92年と当初は上昇しており、イギリスの比重がはっきりと下落するのは96年からで、98、99年には32%前後の低水準となっている。

イギリスに次ぐのがNSWである。NSWからの輸入は90、91年とわずかずつではあるがむしろ増加を続け、その後大きく低下することになる。比重は92年の30.9%がピークであり、当初95年までは89年の水準を保っていたということが出来る。しかし、NSWからの輸入でむしろ特徴的なのはその後の回復が小さく、00年の輸入額が89年の65.4%、91年の62.3%という水準で、比重は98年に20.6%、99、00年でも22%台にとどまったことである。

このなかで比重を伸ばしたのが西オーストラリアとクイーンズランドである。前者は92年から大幅に増加し始め、とりわけ、97～99年には150万ポンドを上回る高水準となっている。その比重も97～99年には1割を上回っている。クイ

ーンズランドからの輸入も93年からむしろ増加に転じ、99年のピークには92年の5倍を上回り、比重も5.9%を占めている。ところでこの両地域の輸出商品からすると、この輸入増のかなりの部分が地金、正貨であったと考えられる。とりわけ西オーストラリアについてはこの性格がかなり強いということができよう。もっとも、これら2地域の比重の伸びが極端に大きなものではない限りでは、輸入における帝国圏の比重が全体としては低下することになったわけである。

これに対して、帝国圏外からの輸入で比重を伸ばした相手はアメリカやドイツであった。アメリカからの輸入は90年をピークに94年には31.2%にまで大幅に低下したが、その後の回復は大きく、00年までに4.4倍にまで増加し、比重は93年の2.7%から00年にはほぼ8%に達した。ドイツについてもほぼ同様の動きを確認でき、00年の比重は4.3%となっている。景気の安定化、回復の中で帝国圏外からの輸入が伸びていったのである。

次に品目をみることにしよう(表5)。単独の品目としては一部の年を除いて羊毛が最大である。89年がピークであり、92年まで高水準を続け、93年に25.7%の大幅な低下を示し、98年を底に停滞傾向となる。比重としては90年代初めには15%前後、92~95年まで20%前後を占め、輸入の一般的な低下の中で比重をむしろ高めることになっている。その後は00年前後の10%前後まで低下させている。

大幅な経済悪化の中で輸入が拡大したのが地金である。93年には正貨輸入が急増し、地金は91年から大きな額となり、とりわけ90年代後半に多額となっている。正貨と合わせ比重は93年から10%を上回り、90年代末には15%前後となっている。鉄鋼製品も当初は比較的大きな額となっている。89年をピークに減少に向かい、95年には21.6%にまで低下している。中でもレールは92年に1.0%、95年に1.3%にまで激減している。その後回復するものの00年に95年の2.7倍になるにとどまり、89年の57.6%の水準までしか回復しなかったのである。個別にはトタン、針金については減少は小幅で、特に後者では91年から95年に57.0%低下したにとどまる。そしてこれらは90年代末には90年前後の水準にほぼ回復しているのである。経済開発の内容の変化を推測することができよう。

比重は鉄鋼全体で89年に5.5%となっており、90年代にこれを上回ることはなく、全体としてみたときにはまだ小さな比重にとどまっている。綿製品も輸入は大きく、88年がさしあたりのピークで91年まで比較的高水準を維持した後低下、93年には88年の63.9%にまで低下しているが、その後はある程度回復し、00年には88年にほぼ等しいところまで回復している。比重は95年の7.1%がピークで、90年代を通して5%前後を維持している。

次に、10%台半ばを占めた南オーストラリアと10%前後を占めたクイーンズランドについても簡単にみておこう。なお、西オーストラリアが90年代半ばからオーストラリア全域の単純合計の1割前後の比重を占めたことを、ここでは確認しておこう。

まず南オーストラリアである。地金銀の輸入は比較的小額なので、それを含む含まないにかかわらず総額の動向はほぼ同じである。地金銀を含む総額でみると、91年には1000万ポンドに近い額に達したが、その後急減し、95年までに56.1%にまで減少している。その後の回復は必ずしもはかばかしくはなく、00年に大幅に増加するも91年の8割程度にとどまる。オーストラリア輸入の単純合計に占める地位は、93年に17.1%に達したが、その後は低下し、98年からは11%前後にとどまっている。

輸入相手では97年に若干比重を下げたとはいえ、イギリスを含む帝国圏諸国が9割前後を占めている。このうちイギリスは93年に大きく比重を低下させたがそれ以外では30%前後を占めていた。比重が高かったのはNSWであり、91年には46.7%を占めた。しかしその後の低下は大きく、00年に41.6%に回復しているが、90年代後半は4割弱を推移している。ビクトリアからは93年が90年代のピークであり、比重も13.2%を占めているが、その後は96、99年を除いては1割に満たない比重となっている。帝国圏以外ではドイツとアメリカが比較的大きな比重を占めている。

品目では、銀が比較的多く、90年代前半は200万ポンドを上回ることが多かったが、半ば以降は額を減らしている。比重では30%台を推移していた前半に対して、後半には20%台となっている。それ以外の品目では、当初羊毛が比較的多く7%前後を占め、その他では木材、綿製品、石炭等が比較的多額となっ

ている。

クイーンズランドの地金輸入は南オーストラリアよりも多いが、それでも93、95年を除いては比較的小額を推移している。地金銀を除いた総額をみると、88年がピークで91年にも比較的高額となつてから93年には7割弱まで低下したが、その後の回復は順調で、96年には91年の水準を、99年には88年の水準を上回っている。

相手先はイギリスを含む帝国圏が圧倒的で、当初は95%以上を、00年でも88.9%を占めている。中でもイギリスの比重が高く、91年の55.4%がピークで、93年の35.8%が最低水準であるが、それ以外の年はほぼ40%台前半を推移している。次に大きな相手地域がNSWで、90年代半ばに低下しているのを除いては3分の1程度を推移している。その他ではビクトリア、南オーストラリアが比較的大きな相手ではあるが、共に1割以下の比重にとどまっている。

品目でみると、一部の年の正貨を除いては1割を上回る比重を示している品目はなく、輸入品目が広く分散していることが知られる。比較的大きなものとしては、小麦粉、衣類、綿製品、鉄鋼製品、家畜、機械等があげられる。

IV 収支

最後に貿易収支の状況について簡単にみておこう（表1）。

各地域の貿易額の合計から相互の輸出入額を差引いたオーストラリア全体の貿易収支をまずみておこう。80年代末に赤字額が大きくなっていたが、90年代に入り赤字が急減し、92年からは黒字に転換している。91年までは輸入が維持されながらも輸出が増大していたのであるが、92年以降は輸出入共に減少し、とりわけ輸入の減少が94年まで急激であった。94、95年には1000万ポンドを上回る黒字になっている。その後輸入が回復するようになり黒字は減少したが、輸出も増大するようになり、90年代末の黒字は再び巨額となっている。輸入の減少はオーストラリア経済の悪化、輸出の増加はゴールドラッシュに伴う地金輸出の増加が要因となっていると考えられる。

地域的には、イギリスに対しては当初の大幅な赤字から92年以降黒字となり、

99年までの黒字は比較的大きな額となっていることが多い。英領地域に対しては、92年まで赤字でその後わずかな黒字がしばらく続き、96、97年にわずかな赤字に転じた後は、99年以降大きな黒字となっている。90年代には対英黒字が圧倒的であり、帝国圏に対しては、90、91年と赤字が急減し、以降96年を除いて比較的大きな黒字となっている。帝国圏以外に対しては、90年まで赤字であったが、91年からは黒字を継続している。全体的には対英黒字がもっとも大きく、帝国圏に対する黒字は帝国圏以外の黒字額を上回ることが多く、この時期にはオーストラリアの貿易関係はイギリスとオーストラリア植民地相互関係が主たる部分となっていたのである。

NSWの地金銀を含めた貿易収支は90年までの小幅な赤字ないし黒字から、92年以降大きな黒字へと転換した。95年が黒字のピークであるが、99年まで大幅な黒字を記録していった。地金銀については、92～94年にわずかとはいえ赤字が続いており、安定した黒字が維持されるのは95年以降である。かくして、地金銀を除いた収支は、97年を除いて92～99年に黒字を続け、そのうち93～95年には比較的大きな額の黒字を計上している。

地域別では、イギリスに対しては当初の赤字から、93～97年に一定の黒字を継続し、00年には赤字に戻っている。ビクトリアに対しては次第に減少傾向とはいえ一定額の黒字を維持し続けていた。ただし、99年には大きな赤字を示すことになっている。南オーストラリアにはビクトリアと同程度の黒字を安定的に続けていた。他方、クイーンズランドには比較的大きな赤字を継続して記録していた。帝国圏全体に対しては、90～92年に赤字であったのに対して、93～95年に同程度ないしそれ以上の規模の黒字に転換した。帝国圏以外に対しては、アメリカ、ベルギーを中心に比較的大きな黒字を続け、とりわけ98、99年には大きな黒字となっている。帝国圏と帝国圏外とは貿易額が大幅に異なっているが、後者に対する黒字が継続的に前者の黒字を上回っている点は注目に値するといえよう。

ビクトリアの収支は、地金銀を含めると大きな赤字であったのが、90年から縮小し、93年からは黒字となり、その後比較的小幅な収支となっていることが多い。地金収支は、93年に小幅な黒字にとどまっている以外は94年以降一定額

の黒字を続けることになっている。かくて、地金銀を除いた収支をみると、当初の大幅な赤字が91年から減少に向かい、95年から低い水準になり、96年から一定規模の赤字になってはいるが、90年代初頭程の水準には達していない。経済開発の停滞、輸入の低迷が影響しているのである。

相手地域では、イギリスとの間の赤字が90年から急減し、変動はあるものの、比較的大きな黒字を続けていたが、99年には再び赤字に転換している。NSW に対しては大きな赤字であったのが、92年から少しずつ規模が小さくなり、98年には黒字が発生しているが、翌年には再び赤字となっている。帝国圏全体では、当初の大幅な赤字が90年から縮小に向かい、94、95、97、00年には黒字となっている。帝国圏以外では、当初の赤字幅が縮小し、92年から黒字に転換し、96年まで大きくはないが黒字を継続した。ドイツに対しては黒字の年もあるが、アメリカに対しては赤字が継続している。NSW ほど貿易を通して帝国圏外から資金を獲得することはできていないことになる。

クイーンズランドの地金銀を含めた収支は89年以降比較的安定した大きな額の黒字を継続している。このうち地金銀の黒字がほぼ半分を占めており、それ以外の一般商品の収支も全体的には黒字を維持していたが、00年からは赤字に転換している。オーストラリア植民地の中ではオーストラリアの黒字形成に貢献している。地域別には、帝国圏ではNSW に対する黒字が大きい。対英黒字には変動があり、全体的にはその黒字はNSW 向けの半分程度である。他方、帝国圏以外に対してはアメリカを中心に継続して赤字を計上しているが、その額はそれほど大きなものではない。オーストラリア内とイギリスを中心とする黒字が全体の収支の動向を決定していたといえよう。

むすび

以上、1890年代のオーストラリアの貿易動向をみてきた。

第1に、NSW とビクトリアの二つの経済的に有力な地域が貿易額でも大きな部分を占めていた。当初、ビクトリアがNSW を上回るほどに貿易を伸ばしたが、93年恐慌以降その拡大は頓挫せざるをえなかった。90年代の経済的停

滞を反映して、一部を除き各地の貿易の伸びは必ずしも安定的なものにはならず、とりわけビクトリアにはこのことがあてはまり、NSWとの差がむしろ拡大してしまった。

第2に、今述べたように、93年恐慌を頂点とする80年代からの経済開発の挫折はオーストラリア経済の、とりわけビクトリア経済の停滞を招き、その貿易額は停滞を余儀なくされた。特にその輸入は縮小した。世界経済、特にイギリス経済の動向に一定の影響を及ぼすことになったのである。

第3に、貿易相手はイギリス、オーストラリア各植民地が大きく、これらを含めたイギリス帝国圏が高い比重を占めた。輸出入共にイギリスと少数の近隣植民地との貿易が過半を占め、世界経済における各主要経済地域からの距離が大きいこともあり、世界市場全体における直接的な役割は相対的に低かったといえよう。ただし、アメリカ、ドイツ、フランス、ベルギーとの貿易が一部で増加し始めている点に、この時期の変化をみてとることができよう。

第4に、品目では全体的に分散傾向が強いが、輸出で羊毛、地金、穀物等が、輸入で繊維製品、雑貨、鉄鋼製品等が比較的に大きかった。輸出については、羊毛が次第に比重を低下させたこと、90年代後半に地金が増加したこと、食料の中でも肉類とりわけ冷蔵・冷凍肉が増えたこと等が注目される。とりわけ最後の点は、運輸通信革命との関連をみることができよう。他方、輸入については、鉄鋼製品、機械が低迷したこと、93年を中心に地金が大きかったこと等が注目される。共に90年代オーストラリア経済悪化、経済開発の停滞を反映したものであり、とりわけ地金についていえば、93年を中心に地金ないし正貨の流れが大きく変わっており、恐慌等の強い影響をみることができよう。

最後に貿易収支については全体的にはほぼ黒字となっている。イギリスとの間ではほぼ黒字を計上しており、帝国圏内でも黒字傾向といえよう。ただし、新たなゴールドラッシュに伴う地金輸出が大きいことがその背景にあり、これを除いた一般商品の貿易では、世界貿易の停滞化も背景に赤字になっている時期もある。

オーストラリア、とりわけビクトリアの93年からの経済停滞状況が貿易動向にも一定程度反映していたということができよう。そこで、稿をあらためて、

イギリスとの関連について、オーストラリア内部の経済状況に立入って検討を進めることにしよう。